

保育おおさか

平成18年9月1日 第373号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

去る7月31日、大阪府保育協議会と日本保育協会大阪支部の共催で、「認定こども園」の説明会を開催したところ、300人余りの参加を得、「認定こども園」に対する関心の高さを示した。

永野治男保育部会長から、「認定こども園」に対する大阪府のアンケートが市町村を通じて配布されたが、内容がわからなければ回答出来ないというこえもあり、急きよ説明会を開催した経過と今の中央情勢についての説明が始まり、大阪府健康福祉部子育て支援課から

新生総括課長補佐からお答えいただいた。その質疑の中で、森田副部長から、先日行われた東京での勉強会では、「認可保育所については現行制度を守ります」という内容が、「認定こども園」に認定されれば、幼稚園部分の児童のみでなく、保育所の

決定を行うこと。また、募集の時点で「保育に欠ける子」と「保育に欠けない子」の定員を公表し、応募者について保育に欠けるか欠けないかを市町村に確認した後、定員を超えるときには抽選などの公平な方法で入所決定を行うこと。さらに、保護者の利用料については、保育園独自で決定できるが市町村への報告義務が課せられ、不適切な場合は行政指導が行われることとなる。また、公費である運営費に

この説明会に至った「アンケート」について、8月21日現在、大阪府内の公民合わせて、約1150か園などの保育園のうち、私立約350か園からの回答では、約3分の1強の園は「実施希望あり」で残り3分の2弱の園は「判断保留

集の時点で「保育に欠ける子」と「保育に欠けない子」の定員を公表し、応募者について保育に欠けるか欠けないかを市町村に確認した後、定員を超えるときには抽選などの公平な方法で入所決定を行うこと。さらに、保護者の利用料については、保育園独自で決定できるが市町村への報告義務が課せられ、不適切な場合は行政指導が行われることとなる。また、公費である運営費に

認定こども園

「理解・不足」で急きよ説明会

小原伸生課長、新生隆信総括課長補佐、佐名木信也総括主査、溝田修三主事から、「認定こども園」の概略説明が1時間ほど行われた。

まず、佐名木総括主査からプロジェクトを使用し「認定こども園」が策定された社会的な背景や国の

大阪府における認定基準の考え方の説明があった。その後、会場からの質問に、

児童を含む全ての児童が直接契約に移行すること。また、幼稚園の機能については、「幼稚園のクラスを別に設けるのではなく、保育所のクラスの中に幼稚園の児童を含んでも良いこと」などが報告された。

の「直接契約」については、10月1日から「認定こども園」になれば、その後の入所については保育園が入所

については、児童個人毎の応能負担分を差し引いた分が運営費として市町村から支払われることとなる。そして、現在入所している児童にも保育園からの契約通知のようなものが必要になるであろうと説明された。

もう一度通知などが出されたい。



熱心な参加者



小原伸生課長

など。「実施希望あり」の中で、7割弱程度は、平成18年度及び平成19年度に実施希望しているようである。実施意向調査の分析には、もう少しの時間が必要。出来るだけ早い結果を期待したい。

るそうだ。この説明会に至った「アンケート」について、8月21日現在、大阪府内の公民合わせて、約1150か園などの保育園のうち、私立約350か園からの回答では、約3分の1強の園は「実施希望あり」で残り3分の2弱の園は「判断保留



叔父が工場を閉鎖した。もともとは、父が開業していた。しかし父が他界したため、叔父が引き継ぐことになった。その叔父も70歳を過ぎ、老後は、畑仕事や旅行を楽しみたいと考え、閉鎖することを決心した。中にある機械や事務所の机など、撤去するのに3日間かかった。すべてのものがなくなり空っぽになった工場の事務所をのぞいてみると、父の写真が額に入れて壁に飾ってあった。工場を開業したとき、従業員の人が撮ってくれたものだからかなりはけている。脚立に上り、埃だらけのその額をはずす。父が生きていたのだらう。そんなことを考えながら埃をはらいながら、額を紙袋に入れ、母に渡した。「いやあ、汚い額やなあ。うわ。おまけにこの写真ほけてるやんか。シュレッターかけたら罰当たるやろなあ。はははははは」。母は、笑いながら額から父の写真を取り出し、大事そうに大きな封筒に入れた。私の感傷と一緒に。

(K・Y)

子どもの人権

どう守るか

川西市

オンブズパーソン事業に学ぶ



石田文三氏

社会館で「子どもの人権をどう守るか」川西市オンブズパーソン事業から学ぶが開催されました。研究会では春陽法律事務所弁護士石田文三氏から「川西市オンブズパーソンについて」の講演が活動の指針

兵庫県川西市では、平成10年から全国で初めて「子どもの人権オンブズパーソン条例」が制定され、3人の相談員が子どもを守るための活動を展開しています。「児童の人権に関する条約」はわが国で批准されて12年が経過しました。

8月3日、大阪府社会福

命の大切さをふまえ

保育の方法をさぐる

「保育所における子どもの権利擁護の取り組みについて」と題し、さらに保育園園長井上一世さんから事例報告がありました。保育の方針として「どの子もかけがえのない大切な子どもです。一人として同じ子どもはいません。保護者、地域の協力のもとに一

よる差別をしない④一人ひとりの子どもが安心して友だちと楽しく過ごせる環境づくりをする⑤自主性、自律性、自己肯定感情を育み尊重すること。

生活の部分に関しては、客観的にみると常に子どもが大人に世話してもらっているという受身の状態になるが、大人側の考え方、援助の仕方によってそのすべてが子どもの主体的な行為になっていく。

大人が常に子どもと主体性を大事にしそしてきちんと発達段階をおさえ援助をすること最終的には自立することになるとの考えによって「育児担当制」という保育形態をとっているとのことでした。



井上一世園長(左) 阪野 学施設長

次に一人ひとりの感性を大切にし、それを表現する心を育てる、では、「いままどんな気持ち」カードの取り組みについて話がありました。

このカードには16種類の子ども顔の表情が描かれています。たとえば、えっ

時間が経つにつれ、いろいろな場面で「これが効果かな」と思える場面に出会うようになったそうです。け

「命」の大切さを子どもたちに伝え、人権を尊重する心を育てるところで自己肯定感を育てていくことが大切だということでした。

また「遊び」の部分では、コーナー保育への積極的な取り組みが必要とのことでした。コーナー保育やコーナー製作をすることによって、子どもはいくつかの遊びの中から自分で遊び作ってみたいものを自己選択できるのです。自分で考え自分で判断し進んで行動できる子どもに育てていくことも「子どもの人権」という観点からも大切だということでした。

その後、「児童養護施設における子どもの権利擁護の取り組みについて」遥学園施設長の阪野学氏から事例報告がありました。

最後に「人権に関し園が取り組んでいること」「実践の中で子どもの権利を守っていくうえでの課題」をテーマに6つのグループに分かれてグループディスカッションがありました。

子どもの意志決定を尊重するにはどうすればよいか。大人のペースで子どもを振り回していることをいかに保護者に伝えていくのかなど様々な日常の悩みもできましたが、育児の喜びを共感する、一緒に考えようとする姿勢が大切であるとのことでした。



老朽 改築終えて

—北大阪—

こまどり保育園

園舎の老朽化による建替えに伴い、寝屋川市や地域の方々からの要望もあり、待機児童解消を図るため、60人から90人へ定員を増員しての新園舎での生活が平成18年7月よりスタートし

ました。保育室や事務所、全ての部屋が一列に並んだ仮設園舎はお遊戯室もなく、廊下や園庭は狭くなり、決して快適といえるものではなかったのですが、子どもたちの表情は明るく、新しい発見としては皆で喜び合い、毎日楽しく登園することができ、仮設園舎とのお別れの時には子どもも保育士も寂

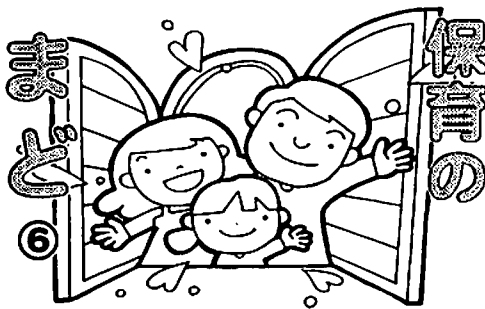
しく感じました。新園舎の設計においては、安全面を重視しながら、広々とした空間と自然光を多く取り入れ、子どもたちが目一杯活動的に動けるよう工夫していただきました。園庭も以前より広々と使うことができ、子どもたちが毎日、嬉しそうに遊んでいきます。また、靴箱やロッカーには、カラフルな色がたく

さん使われ、可愛らしく、優しい印象を与えてくれます。以前よりも過ごしやすくなった新園舎に子どもたちや保護者の方々もとても喜んでおられました。たくさんさんの思いを込めて出来上がった新園舎で、保育士一同、新たな気持ちで、より良い保育を目指し、日々努力していきたいと思っております。

規制改革・民間開放推進

会議の中間答申において、利用者との直接契約の導入や利用者に対する直接補助方式への転換などが2008年をめどに導入するよう提言されました。その中には「育児保険」の検討も明記されているようです。また、「認定こども園」も10月から本格実施されるなど、現在の保育制度があと何年維持されるのか不安がいっぱいの状況にあります。

泉州ブロックにおいては、公立保育所の民営化が徐々に進められ、特に泉佐野市では12か所あった公立の内、すでに2か所が民営化され、あと5か所が民営化される事になっています。泉佐野市では、待機児童もほぼ無くなり、公立保育所では定



中、泉佐野民間保育園11か園では、従来入園児童に行っていた説明会を、入所申込前にも行い、保護者の選択に寄与するための情報を提

員割れの所も出て来ております。民営化が完了した時点では厳しい競争の時代が予想されます。そのような

供し、園の保育・教育内容のPRも行う事としました。定員、職員数、保育方針、特別保育事業はもちろん休日や休日出勤の代休についての考え方、給食やおやつにおける保育の考え方など、出来る限り保護者の知れた

や市に寄せられた苦情に対して、第三者委員の意見をとり入れ適切な対応・解決を計り、それを全保護者に公表する必要があります。公表には園の掲示板、ホームページなどがありますが、内容によってはプリントで

ます。今後は泉州ブロック全体でも苦情を共有し、対策を講じてゆければと考えっております。最後に「育児保険」制度ですが、「要保育度」という言葉が示すように「介護保険」制度と同様の考え方

泉州ブロック

情報の提供に工夫

苦情は共有・解決の道探る

い情報を伝えて行き、保育園は立派な教育機関である事もPRしたいと考えております。

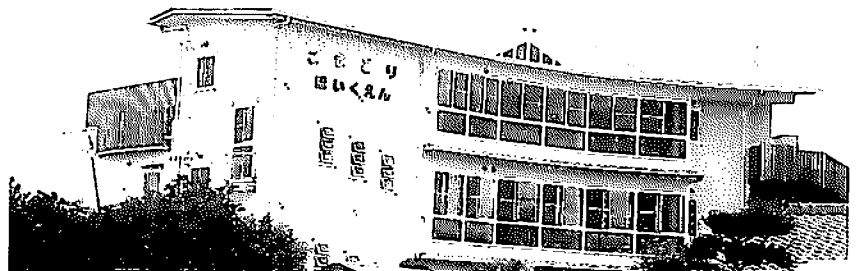
選ばれる保育園になるために各園ではいろいろなご努力をされていると思いますが、まず苦情解決制度の確立が重要と考えます。園

全保護者に配布しなければならぬ場合もあるかと思えます。苦情や意見に対し園が真摯に受け止め、対応する事が保護者との信頼関係を築くことになると思います。泉佐野市では園長会で市に寄せられた苦情について検討するようにしてい

のように思います。単に保育制度だけをとらえれば、少しは理解出来る部分がありますが、現実の保育園の活動は保育と教育が一体となつていっているものですので保険制度はそぐわないと思いますが、皆様はどのようにお考えでしょうか。

保育部会 調査研究委員会より お知らせ

今まで手作業だったよい子ネットが自動発信になりました。御協力いただいた先生方がとうございました。



ブロックだよ



「河内ブロック」 保育士研修会

―選ばれる保育園になるために―

保育士の資質も変わりつつある今、選ばれる保育園になるためには、園長をはじめ、初め保育士研修がとて大切となって来る。

八尾私立保育連盟保育士部会も毎年研修会を行う中で今年は、6月13日二人の講師を招いて行われた。ゆう安中東保育園・重谷洋寿園長に「これから保育士として現在の課題は」について、講演をいただいた。

園長は、「保育園は、昔と違い傾かりだけではなく教育も行われている」と話され「保育園の重要さ」を保育士は再確認をした。保育士の知らない、国や府、市の動きについても話された。

つづいて講師、体育指導協会・金城秀樹氏に「体育指導に行つて思うこと」について講演をいただいた。

園児には、一人ひとりと向き合つて、同じ言葉全員にかけるとはなく、個人に合った言葉掛けが大切ではないか。

また「園児と同じ目線に立ち、楽しみながら保育をする事により園児も意欲を持ち、自分から進んで保育に入ってくるのでは」と、話された。

保育士も日々勉強をしながら、子どもの心をつかみ、素晴らしい大人になれる様に保育をしたいと思った。

堺市ブロック研修 ネットワーク活用について

今回の研修は連盟の仲間である三原台保育園の重谷崇夫氏に「ネットワークの活用について」講演していただきました。

平成18年4月に政令指定都市に昇格し連盟加盟園も68か園となり、メンバー間、対行政のコミュニケーションをインターネット経由で効率的に行えるよう堺市民間保育園連盟ネットワークサービス「堺みんぼれんネット」を立ち上げました。今回より多くのメンバーにネットワークを活用していただくため研修を企画しました。WEBが生活の一部として定着し、時間的束縛の制限が原則的になく、いつでもどのような情報でも操作することが出来るなどのWEB活用のメリットを説明されました。次に本日のお題として、みんぼれんネット、堺市安心安全メール、よい子ネット、安まちメールの登録方法、情報の流れをパワーポイントを活用し、わかり易く説明され大変有意義な研修となりました。

北摂ブロックに青年部があり、現在大勢の若者が活躍しています。この青年部の成り立ちは30年前のこと、北摂の保育園で仕事をしていた4人の若者が意気投合し、酒を酌み交わし勝手に北摂青年部と名乗り、ブロック活動の手伝いをしたのが始まりでした。その若者とは菊池繁信、三角和義、橋本満と熊井茂治です。

そして今、北摂次世代青年部(本人達は若年部と言っています)が誕生。菊池さん、菊池一人くん、菊池さんの息子、三角岳生くん。園田裕紹くん(第二とりかい保育園)、中西孝之くん(山手台保育園)の4人です。おおいに酒を酌み交わし、保育の未来を語り、次の世代での活躍を期待したいものです。

緊急園長会 開く

「認定こども園」となれば、自園の存続にも係わるので不安を持ちながら出席する園が多かつたようです。そのため参加者から忌憚のない意見や質問が多く出されました。これからは、単に行政に要求するのではなく、互いにアイデアを出して協力しあうことが確認されました。

平成16年度、少子高齢化が進む南地域に待機児童解消目的で堺市型認証保育園が設置され、その影響で近隣保育園の数箇園に定員割れが起きました。この現象に各保育園は大変脅威を感じており、近くの幼稚園が

保育園をたずねて

343

茨木市 末広保育園

末広保育園は、創立35周年を迎えられ、保護者の中には同園を卒園した方もおられるそうです。

園児が園内にある畑の作物の収穫を体験でき、多くの草木や自然との触れ合いを大切にしておられ、食育の面では、乳児から年齢に応じたクッキングが体験でき、食材の持つ働きがわかり、正しい食生活が身につく保育を実践されています。



ネギの名産地

また、0〜5歳児が一緒に過ごす異年齢交流を積極的にされ、ほほえましい光景が見受けられました。

幼児組では、体操や和太鼓を通じて、友だちを思いやる心を養っておられます。

子育て支援センターを中心に園庭開放や親子教室を行われ、多くの参加者と園児との関わりを深める地域活動を行っておられる保育園でした。

「認定こども園」をテーマとする緊急園長会が開催されました。これからは、単に行政に要求するのではなく、互いにアイデアを出して協力しあうことが確認されました。

行 所
大阪府中央区寺田1-54
大阪府社会福祉協議会
保 育 部 会
TEL (06) 6762-9001
行 人 男
免 野 治 勝
永 集 人
水 崎 勝